

ロード

Aブロック 全作品と講評



www.columnland.net/

にて作者さん&読者さんの声実況中

『ロード』

下から読んだら

『道路』

まさに

翻訳

「道」

……人のふみ行うべき道すじ。人としてのあり方や生き方。

(三省堂 『スーパー大辞林 3.0』)

「人として誠実に真っ直ぐに生きなさい」という言葉は、大人が子供に言う典型的な文句の一つである。誰もが一度は耳にしたことがあるだろう。いかにももつともらしい名台詞だ。

しかし、もう一度よく「道」という漢字を見ていただきたい。

道

「道」の部首は「しんによう」である。この「しんによう」は、道や歩くことを表す部首であるが、見ての通り、曲がりくねっているのである。決して真っ直ぐなどではないのだ。人の生き方を表す漢字の部首が、こんなにまるで右往左往しているという事実は、人間の本質を表しているといえるのではないだろうか。

つまり、真っ直ぐに生きる人間など、人間ではないのである。生まれたときから確固たる思想を持ち、それに沿って生きていく人生など、あまりに非人間的だ。多くの考え方に出会い、試し、悩んでは別な考え方を試してみる。それを繰り返し、最後まで迷い続けるからこそ、一人の人間としての人生が浮かび上がってくるのである。漢字を発明した昔の人は、そんな意味を込めてこの漢字を生み出したに違いない。

曲がりくねっているからこそ

人間性が溢れ出す。

私の人生

いままでたくさんの道があった。
そのなかで一本ずつ選んできた。

私の人生。

幼稚園の時に水たまりに足をつっこむか迷った。

おかげで靴下がびしょびしょになった。

小学生の時に男子トイレに侵入するか迷った。

おかげで男子トイレに隠れていた男の子を発見し、かくれんぼに勝った。

中学生の時に先生にガラスを割ったことを自首するか迷った。

おかげで先生にもものすごく怒られ、私はものすごく泣いた。

高校生の時に恋した先生に告白するか迷った。

おかげでまもなく私は同学年の男の子に恋をした。

人生選ぶべき道はしかるべき瞬間にある。

判断の善し悪しは、その後の自分の考え方や気持ちの持ちようで変わるのではないだろうか。

ちなみに大学生になった今、私は1万円もするカピバラさんという名前のぬいぐるみを買おうか真剣に迷っている。

ロード・ショー……

演劇の興行に際して、宣伝のために路上で一部を演じたことから、一般公開に先立って独占的に特定の映画館で封切、上映する興行方法。

夜空に燦々と輝く星々を映した水面の上に、半球形状の建物がひっそりとたたずみ、その建物を貫くように、闇夜の湖には一筋の光明が走っていた。

「明日からここで公演が始まる。各々、最終確認を怠るな。」

しかし建物の中は外で作り出された神秘的な光景に気付かず、無粋な光を溢れさせ、静寂を打ち破る物音を漏らし始めた。

「明日はこの劇に最も相応しい日だ。初日を成功させて、評判を勝ち取るぞ。」

地上の様々な場所でこの建物と同様に、暗闇が人工の明かりで消し去られながら、明日のイベントに備えて作業が進められる。

「観客との一期一会を大切に、」

地上がいかに光を放とうとも、天空に煌めく清流はその美しさを、気高さを失わず、一年に一度の橋が架けられる。

「しかし何度も足を運んでもらえるように、」

けれど架け橋を渡る者達は地上の喧騒を嫌い、一日早い渡航を終わらせてしまう。愛しい人との逢瀬を乱されない為に。

「『ミルキー・ウェイを越えて』を最高のモノにするんだ。」

く天の川、天の架け橋く

「七月七日に逢うのはもう嫌だな。」

「そうね。だけど私達が天の川を越えられるのはこの時期だけ。」

「これからは今回のように一日か二日、早くするか遅くしよう。」

「それでも地上は騒がしいけど、幾分か和らぐわね。」

「ああ、少しでも収まるのなら良いさ。」

「ええ、そうね。」

二人の男女は久しぶりの抱擁をそっと交わす。

今の二人には、きつと地上の事など欠片も気になってないことだろう。

けれど地上の人々の中で、ふと上を見上げた者達は、そのいつもとは異なった輝きを放つ綺麗な夜空に魅せられることだろう。

そして天の川に各々、願いを懸ける。

己の穏やかな幸福を。

一日早い七夕の夜に。

おそらくこの言葉を知らない人はいないであろう、キリスト教式の結婚式において教会の入り口から祭壇までの絨毬道を指す。ところが、この言葉を調べるととても大きな疑問にぶつかることとなつてしまったのだ。

まず、知っている方も多いことだろうがバージンロードは和製英語で、外国、無論キリスト教圏にもそんな言葉は存在せず、「Aisle」(通路)という無機質な呼ばれ方しかない。そして、一方でその意味は花嫁の純潔の象徴から来る。私はここに引つ掛かりを覚えた。

さて、そもそもこの言葉が使われ始めたのは、教会での結婚が普及し始めた戦後であると判断できる。戦時中は外国の物を徹底的に排除する歪んだ動きがあつたため論外で、戦前は大正天皇が始めた神前式(神前式の歴史が意外に浅いことも驚きの事実である)が主流。江戸以前は専ら昔の日本の方流である。一方で戦後は、結婚まで純潔でいる場合が多い見合い結婚が廃れて急激に恋愛結婚へと転向した時期でもある。即ち、少し嫌味な言い方になるが、バージンのままバージンロードを歩く花嫁はまりいなくなつたようなものだ。その状態で「花嫁の純潔の象徴」を意味する言葉が作られた。これはいったいどううことなのか。そこがどうしても疑問になつてしまった。けつこう、いやおいつきり勝手な解釈だが、もしかしたらこの言葉を作つた人が、結婚まで純潔を保つていた昔の日本への思いを馳せて作つた言葉なのではないだろうかと思つた。に結婚まで純潔を保とうがどうだろうがそれは完全に本人たちの問題なのだが、のような方式を懐かしんでいる人もいたと思う。あるいは、結婚まで純潔でいたい、あるいはいてほしいという淡い「夢」の象徴としてつくられたのか

——そんな淡い夢を叶えてくれる最たるものが「俺の嫁」である。彼女たちはずっと純潔のまま、右に描いたような二次元のバージンロードで、私たちを待っていてくれるのだ——

スポーツへの道

柔道

受け身がうまくとれず、腰を痛める
もうあんなのやりたくない。

剣道

授業でやるうとしたが、直前で違うことで怪我をして断念
しかも、臭い……

野球

高校に入って、人生初のロードワーク
チーム内ではスタミナが有った方だが、あまり野球につながらない。

結局、ケータイアプリをダウンロード

「よく来たね。ここが終点だよ」

終点

—あんた、誰だ？ここで一体何をしているんだ。

「私は、まあ神様のようなものだ。時々来る、お前さんのような奴の話相手を
するのが仕事さ」

—終点といつたな。ここは一体どういう場所なんだ。

「終点さ。もつというところ、ここは『全ての道の終点』なんだ。全ての道は終点に通
ず。おおよそ何かしらの道を辿ると、全てここにたどり着く。終点という概念を
具象化した場所、と言ってもいいだろうね。お前さんも、大方何かの道を歩い
てきたところなんだろう」

—ああ、確かにそのとおりだ。……なるほど、俺はここから先には絶対に進め
ないってことか。

「うん、物分りがいいね。何てったってここは終点。先を切り開けばいいとか、そ
ういう次元のものじゃない。君が今まで辿ってきた道は、今ここで終わっている
ことを保証するよ。先なんて、そもそも存在しない」

—そうか。着いてみると、なんだかあつけないもんだな。

「え、ここに来る人にしては珍しい。悲しくはないのかい？」

—悲しいさ。悲しくて、悔しい。でも、嘆いたってどうにもならないんだろ？ど
んなに足掻いたって、ここで終わりなのは理解してる。……だから、歩みを止め
た人間は、潔くここで静かに朽ち果てるとするよ。

「ふむ、君の言うことは確かに正しい。でも、君はそれでいいのかい？」
……………

「いやさ、留まりたいなら好きなだけここに居座ればいいさ。このまま消えてし
まうのも悪くないだろう。でも、そんなのはもつと後でいい。なんてったって、君
はまだ若いんだから」

—……………どうすればいい。

「考えてごらん。ここは『全ての道の終点』なんだよ。……簡単なことだろう？」

—……………わかった。ありがとう、神様。

「仕事だからね。礼には及ばんよ」

—いや、貴方に会えて俺は救われた。それじゃ、俺はもう行きます。お元気で。
そういつて俺は彼に背を向け、小さく、けれど確かな一歩を踏み出した。

「……………また、すぐに会っただけだね。そのとき君は覚えていてくれるかな？」

間違っ
たっ
て
い
い

引
き
返
せ
な
い
道
な
ん
て
な
い

ある人が死んだ後に、神様といつしよに自分の歩んできた人生をふりかえる事になった。その人が歩いてきた道には、二人分の足跡が残っていた。その人が神様に「なぜ二人分あるのでしょうか」と聞くと、神様は言う。「それは私があなたに寄り添って歩いていたからですよ。」▼人間はひとりでは生きていけないというが、それは物質的な意味でも、精神的な意味でもある。人間が頼るものは宗教かもしれないし、友人、あるいは恋人かもしれない。▼最近ではニートや引きこもりといったいわゆる自立できない人々の増加が社会現象のようになっていいる。彼らが経済的な自立にはほど遠いことは間違いない。▼しかし、そういう人たちに対して自立しなさいと突き放してしまう人が世の中には多い気がする。ほんとうに自立させるためには、むしろ精神的に寄り添う必要があるのではないだろうか。▼冒頭の話には続きがある。その人が自分の人生で一番つまらなかったところにさしかかると、足跡は一人分になっていた。「どうして一番つまらいつきに一緒にいてくれなかったのですか」と聞くと、神様は答えた。「足跡が一人分なのは、このとき私があなたを背負って歩いていたからですよ。」と。

思い出のロード

幼稚園に通ってた頃

僕はあの道で父さんと一緒によくキャッチボールをしたりして遊んだね

小学校に通ってた頃

僕はあの道で友達と鬼ごっこをしながら帰ったりしたね

中学に通ってた頃

今まで一番恋してたあの子にフラれて涙をこらえながらあの道を帰った
ね

高校に通ってた頃

高3の卒業式の日、僕はあの道でずっと隣にいた君に「またね」と告げた
よね

もう会うことはないとかわかっていたのに……………

もうあの道はビルが建ってなくなってしまったね

でも僕の心の中にあの道は残っているよ

だってずっと一緒に人生を歩んできた道だからさ

目を閉じて

私の小学校では、「その道で目を瞑って歩かないと呪われる」といった言い伝えがあった。子供の頃、「夜中2時に起きるとお化けが現れる」といった類のものだ。小さい頃はささいな親の嘘でもすぐに信じてしまう。

確かに木が生い茂っているため外からの光が入らず、油断すれば何かが出てきそうな雰囲気があった。

元来臆病だった私は純粋に作り話を信じ、それを遵守した。整備されておらず、入り組んだ道だったので若干ふらふらしたが、それでも頑なに遵守した。

高学年にもなつて続けていると、周りの友達に笑われるようになり、意地になって目を開けてそこを通るようになった。

次第にその道の存在自体を忘れてしまった。

大人になった今。

信じることが少なくなつたし、逆に信じることが何かが分からなくなつた。

一方で周りの反応に昔以上にビクビクするようになった。

一体何を受け止めれば良いのだろうか。

視線が行き交う通り

噂が飛び交う交差点

自分らしさが何か分からず戸惑う毎日

そこで私は「目を瞑って通る道」を思い出した。

目を瞑つたって良いのではないか。

耳を塞いだって良いのではないか。

確かに一度自分の中に閉じこもれば視界が狭くなる。

しかし周りに振り回されずに自分らしくいけるだろう。

小学校の頃の「道」とは違い、周りの様々なことに目をやるからふらふらするのだ。

さあ、息を吸い込み、前を向こう。

不安定な現実で踏みとどまるよりも
明日への着実な一歩を

長い道のり

人生まだまだ先は長い

そんなわけでもう寝ます

コンテスト結果

[Aの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
A01	ロード/道路 (まさに翻訳)	15 pt	2 位	0 sp
		おー、うまいこと言った！感が炸裂する表紙でした。 「翻」一文字に賭けた潔さがここちよいですね。 そして、Bの表紙さんとお揃いなところが今週のポイントでした。 「スゴイ」「よく気付いた」と感動の嵐を巻き起こしてのシルバー・メダルです、おめでとう!!		
A02	「道」	11 pt	3 位	2 sp
		主張を文字に託したアイディアがいい。話の運びもていねいで好感を持てます。 ただ何かを主張するには、少しばかりのリサーチが必要で、そこをきっちり固めたかった。 常識なんかに従わないぞのひねくれ上等路線、ブロンズメダルで祝福です。おめでとう！ 特別賞：マイケル・ジャクソンで賞（A-2のディスカッション中に死を知ったから。歴史に残る人がまた1人消えた、アーメン）目のつけどころがいいで賞 イチオシフレーズ：「曲がりくねっているからこそ人間性が溢れ出す」「スーパー大辞林3.0」		
A03	私の人生	3 pt	8 位	2 sp
		「迷った」のあとに敢えて何を選択したかを書かずに結果だけ載せるというつくりが、謎解きの想像力を刺激して、おもしろかったです。 特別賞で買えばコールの後押しをいただいたカピバラさんの運命やいかに？ 特別賞：カピバラ賞（買ってしまえばいいじゃない） 買ってあげま賞（カピバラさん高いから買ったら後悔するので買いましょう）		
A04	ロード・ショー	3 pt	8 位	4 sp
		地上の喧噪vs天上の静謐。同時並行で見せることで、二つのドラマが味わえるのはおいしいです。 けれど、「一年に一日だけ」だからロマンティックなのに、てきとーに前後にずらせちゃうなんて、ちょっと夢がないかなあ、とそこだけ残念。 なにやらタイトルがヒットして、ロード賞3連発、おかげで最多特別賞です、おめでとう！ 特別賞：優秀コラム賞（とても良い作品だったから） ロード賞（まんま）ロード賞（ただの駄洒落です） ロード賞（なんかショーがよかったかも） イチオシフレーズ：「一日早い七夕の夜に。」		
		11 pt	3 位	2 sp
		なんと教会型コラム！ レイアウトがすてきで、かつ、なかみもがっつりという両方が備わっているところがすばらしかったです。 失われゆくから、よりいっそう、いとおしい。ニッポ		

A05	Virgin Road	ニア・ニッポンみたいなものではないかな。 叫ばせてくださいですか、そうですか。だいじょうぶ、誰も反論しなかったから。ブロンズメダルと俺の嫁、たいせつにお持ち帰りくださいませ。おめでとう！ 特別賞：サザエさん賞（レイアウトがサザエさんのエンディングにしか見えない） 5 類で賞（まじめに語っておきながら、最後のおとし方がいい） イチオシフレーズ：「二次元のバージンロード」「俺の嫁」（古賀渚）「バージンのままバージンロードを歩く花嫁はあまりいなくなった」「二次元」
A06	スポーツへの道	0 pt12 位0 sp おやおや、そんなオチで、ロードの二度使いワザですか。そこに工夫を読みました。 実話かなあと、いろんな失敗談が苦笑を誘います。友だちトークの親近感がいいね。 イチオシフレーズ：「しかも、臭い・・・」
A07	終点	8 pt5 位0 sp いいなあ、この気さくな神様。そのキャラクターが何よりの魅力でした。 ときに、コンセプトは終点すなわち始点、人生は輪廻転生、という理解でよろしいのでしょうか。いまいち自信が持てませんが、たぶんそうですね。 イチオシフレーズ：「【終】」
A08	無題（間違ってたっていい）	3 pt8 位0 sp 宣言しちゃえば勝ち!? ばしっと決意あふれる潔さでした。
A09	無題（神様といっしょ）	20 pt1 位0 sp 神様に背負われて。 なかなか心たのしい設定です。 ときにはストーカーで、ときには背負い人。何だかバチアタリなほど、献身的な守護霊神様がいつも一緒なら、そう、人生も悪くないね♪ あたたかな人生観がフロアにヒットして、みごとゴールド・メダルです、おめでとう!!! 高校の恩師さんにご報告ください。 イチオシフレーズ：「私があなたを背負って歩いてきたからです」
A10	思い出のロード	1 pt11 位0 sp タイトル、たぶんダブルミーニングかな。 思い出の道/思い出をロード（読み込み中）。 小中高と経て、まだまだこれからの人生だけど、こんなふうにしっとり振り返れる道があるって、いいですね。
A11	目を閉じて	7 pt7 位0 sp ふらふらしないぞ決意表明。 エピソードとともに実感こもって響いてきます。 お化け道のお話が、実体験かなあと思わせるリアリティでした。
		8 pt5 位5 sp 明日は明日の風が吹く。

A12	長い道のり	とても前向きな、今週の「おやすみなさい」でした。 大レポ気分みんなの気持ちをゲットして、さらいましたよ、今週のイチオシフレーズ大賞！おめでとう！ 特別賞：もう寝ま賞（短いのに共感できる。全体のシメとしてオチている）早く寝ま賞（コラム、夜中までがんばってたっしょ？笑）そんなわ——賞（ねむい）諦めも肝心で賞（物理実験の大レポですか？） 大レポおつかれ賞（大レポで疲れただろうから） イチオシフレーズ：「光は長い」（に読める）「そんなわけでもう寝ます」×5
-----	-------	--

[Bの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数 まじょコメント	順位	特別賞
B01	ロード/道路 （回文）	Aとお揃いの今週の表紙。 グローバル回文の趣向にて、さっくりスタートです。 特別賞：グローバル賞（グローバルだから）	0 pt11 位	1 sp
B02	分かれ道	食事、という、ひとりであることのさびしさがいちばん身にしみるシーンを選んだ狙いが効いてます。 卵はサービスのひとことが、しみじみリアルだなあ。 特別賞：ハヌマーン賞（出会いはいつか別れとなる……だけど別れはきっと新しい出会いのきっかけだよ）惜しいで賞（もう少し構成を！）	2 pt9 位	2 sp
B03	騎士と吸血鬼	ダンピールのそんな設定。こまやかに作り込んでいただきました。 宿命を背負いつつハンター業に邁進する「私」がすてきにカッコいい。戦闘シーンもスピード感GOOD。 ただ、やはり長すぎかな。いっそ処刑シーンで、きれぎれのフラッシュバックという仕立てにしてみたら、文字数も削れて、より哀しさも際立つのでは。 特別賞：中二で賞（はあと） イチオシフレーズ：「そう彼がただの人間だったならば」（中二病的な感じ）「イエス、マイロード」×2	7 pt5 位	1 sp
B04	青春ロード	ぽつりぽつりとつぶやくようなレイアウトが内容にマッチしてます。 で、歌舞伎町は何だったんだろう？ 気になります。 そうそう、「自身」→「自信」は、とても間違えやすいワードなのでみなさま要注意。 イチオシフレーズ：「自身」	3 pt7 位	0 sp
B05	葦	哲学問答、秀才青年vs無知鴉篇。 どの部分も深い洞察につながっていきそうで、だから焦点がボケてしまった感。 言語学がニガテというあたりから主題で、人間の不条理をどう条理立てるかが大命題かな、と読んだのですが、さて？ 特別賞：倫理で受験したで賞？（パスカル？） イチオシフレーズ：「栄養価が高いがまずい」「そんなこと言う鴉はお前ぐらいだ」	4 pt6 位	1 sp
		蛙蛙蛙。ぎょえええ。 すごい光景。これでもかっ！のグロさ。	25 pt1 位	5 sp

B06	ストロングウーマン	でも、ぜったいゴールが待ってるよ、と信じられる 「私」のタフさを光明として、一緒に一気呵成に走り抜けられます。 大ヒットでしたね。ロボットとの接戦を制しての首位です。ついでに最多特別賞もどうぞ。これでぶじにプレゼン場所までたどり着けますように。 おめでとう!!! 特別賞：やくどうかんで賞（はやい） キモイで賞（生理的嫌悪を覚える） シュールで賞（すごくシュール） オチがないで賞（まじでオチがない!!） 逆フロッガー賞（フロッガートークで盛り上がったから） イチオシフレーズ：「キュルルルル。」 「ビチビチ」 「それでも負けない.絶対に負けない」			
B07	無題（ピーポーピーポー）	<table><tr><td>3 pt</td><td>7 位</td><td>0 sp</td></tr></table> ストーリー物にタイトル無しは、不似合いです。付けてあげてくださいな。 で、ラスト、どうなったんだろ？ 解釈その1 別の彼と 解釈その2 健ちゃん植物人間から生還！ その2であってほしいなあと思わせる、彼一直線のラブストーリーでした。 なんだかピーポーがヒットして、今週のイチオシフレーズ大賞です、おめでとう！ イチオシフレーズ：「ピーポーピーポーピーポー」×2 「12年後」（←1、2年後と読みたらしい） 「し…しあわ…せに…なれよ…」	3 pt	7 位	0 sp
3 pt	7 位	0 sp			
B08	標識	<table><tr><td>11 pt</td><td>3 位</td><td>1 sp</td></tr></table> 進むごとに枝分かれする迷い道。 今回、たっくさんの書き手さんがこのモチーフで書いて来られました。大学選びという大きな選択をしたあとの、みなさま共通の実感なのでしょう。 迷子気分は自分だけじゃないんだ！です。 その実感を「標識」という比喻を持ち込んで、幼い頃と今を対比した工夫が良かったです。おめでとう王道ブロンズ・メダル！ 特別賞：王道で賞	11 pt	3 位	1 sp
11 pt	3 位	1 sp			
B09	プラスチック・ロード	<table><tr><td>23 pt</td><td>2 位</td><td>1 sp</td></tr></table> プラスチック。ロボット。カクカクの無機的なアイテムに〈情〉を持たせたことで、意表を衝いたおもしろみとなり、不思議に明るい悲しみを醸し出しています。 死を看取る者/思いを遺しつつ逝く者。ありがちの男と女というような、なまなましい設定にできなかったことで、よりピュアにその交情が際立ち、しんと余情に浸れます。 またしてもすてきな物語をありがとう！シルバー・メダルをどうぞ。 特別賞：みやぶられた賞（残念でした） イチオシフレーズ：「Good night,my plastic lord」	23 pt	2 位	1 sp
23 pt	2 位	1 sp			
B10	手のひら	<table><tr><td>0 pt</td><td>11 位</td><td>0 sp</td></tr></table> 生命線？思わずじっと手を見ちゃったり。 そんな親近感が題材選びのセンスの良さでした。 ちょっとレイアウトにがんばりすぎて、読みにくさが犠牲になったのが残念。	0 pt	11 位	0 sp
0 pt	11 位	0 sp			
		<table><tr><td>2 pt</td><td>9 位</td><td>1 sp</td></tr></table> これって詐欺？ペテン？ ——いえいえいえいえ、だあれも損はしていません。	2 pt	9 位	1 sp
2 pt	9 位	1 sp			

B11	地域再生プロジェクト	村、よろこぶ。新住民、よろこぶ。テレビ局、よろこぶ。ほおら、ね？ みごとな構成力でした。 どうか末永く、バレませんようにっ！ 特別賞：ゲド戦記で賞 イチオシフレーズ：「座敷童子の親戚の霊」
B12	荷下ろし	10 pt4 位2 sp 単なるチェーンメールのコワさではなくて、他人に転嫁すれば、そのぶん自分の不幸が減るっていうコンセプトが、じつに人の性（さが）に的確で、それをこう具象化してみせた手腕にうなりました。グレート！ 特別賞：やめま賞（やめようと思った） ニート賞（金出して買えよ）